かがやく麻生中☆

令和8年10月23日発行
(第109号)
行方市立麻生中学校
住所:行方市南327−3

自分の思いや考えを**よりよく**表現し課題解決できる(語り場 学び場 麻生中)

～校内授業研究会～

10月22日(木)に校内授業研究会を実施しました。大学より講師の先生をお招きし、国語、数学の授業を公開し、全職員で参観後に、本校の授業実践のポイントに沿って、成果と課題について話し合いました。その後、講師の先生より助言指導をいただきました。

国語の授業を行った3年生生徒は、「説得力ある批評文を書くポイントは?」という課題について対話的に課題解決を行うことができました。生徒同士の対話では「それはどういうこと?」「根拠はどこにあるの?」「例えば･･･という感じかな」「なるほどそういうことか」等、聴き合う姿、思いや考えをつなぎ合う姿、問い返し、意味理解を図る姿を見ることができました。全体での話し合いでは、教師が「〇〇がよくない理由は何だろう?」という発問に対して、生徒は「いいところだけ書いてあり、よくない箇所が書いていないのでよくないと思います」と自分の考えを話すことができました。また、教師の「では、何が足りないのだろう?」という問い返しに対しても「批判」「比較」「根拠」「具体例　事例」「主張」「評価基準」等、国語科の見方や考え方を働かせながら、課題解決しようとする姿が見られました。

数学の授業を行った1年生生徒は、「どちらのキッチンカーに並べはよいのか」という課題を解決するために、これまで学習してきたこと、生活や経験で得た知識を生かしながら、選択・決定し、その根拠について、数学的な活動や生徒同士の対話、教師との対話をとおして、思考を深めることができました。

生徒同士の対話では「グラフにするとこっちの方が速いかな」「これでいいのかな」「でもね･･これって」「だからね･･･だと思うんだよね」「そうしたら･･･になるんじゃないかな」「この図をみるとね･･になると思うんだ」「･･という増え方から考えてみよう」等、数学的な見方や考え方を働かせながら課題解決している姿を見ることができました。特に、課題を自分事として捉え、「だから」という言葉を遣い、自分の思いや考えの根拠を示そうとしている姿から、主体的・対話的に学んでいることを確認することができました。

1年生・3年生ともに、「自分の思いや考えを話したり書いたりする」だけではなく、根拠を示したり、テキスト、図、表等と関連付けながら、よりよく伝わるように表現し課題解決していました。また、生徒同士が聴き合い(聴く　つなぐ　もどす)ながら課題解決を図っている姿が印象的でした。

11月20日は、行方市学力向上指定校事業に係る研究発表会が予定されています。市内の中学校の教職員が一同に会して授業参観し研究協議を行っていきます。教職員の授業力の向上をとおして、生徒の確かな学び、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう、研究をすすめ、引き続き通常の授業において、「自分の思いや考えをよりよく表現し課題解決できる生徒の育成」を図ってまります。







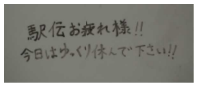


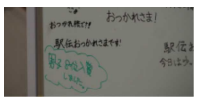




～メッセージ～

2階のホワイトボードにさりげなく多くの生徒からのメッセージが書かれています。県東地区駅伝大会に出場した生徒への労いメッセージです。思いやり行動の一端をかいまみることができ、うれしい気持ちになりました。





～地域の方より～

地域の方より美しい「がまずみと椿」をお届けいただきました。職員室前が一気に華やぎ、子どもたちも足を止めて眺めています　季節の彩りを感じられ、学校全体が明るい雰囲気になりました。

ありがとうございました。



～県主催の研修会～

本日10月23日(金)茨城県教育委員会主催の研修会が本校で開催されました。多くの教職員が参集し、生徒理解の在り方、ユニバーサルな授業設計の在り方について研修することができました。

～PTA奉仕作業～

明日10月24日(土)7:00～PTA奉仕作業が予定されております。たいへんお忙しい中かと存じますが、ご参加につきまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。